

おわりに

今回の本委員会報告においては、有明海・八代海等での諸問題について、1970年頃から現在までの環境変化に着目して整理し、海域毎に問題点及びその要因考察を進めるため、有明海を7つ、八代海を5つの海域に区分し、各海域での問題点とその原因・要因を整理し、これを踏まえて再生への取組の方向性を見出した。また、いくつかの再生方策について、その妥当性や効果を検証するため、ケーススタディとしてモデル計算等を用いた検討等を行った。

これらにより、一定の整理はできたものとするが、未だに多くの検討課題が残されており、今後、更なる調査研究・開発の継続が望まれる。

また、本報告を踏まえ、関係機関や関係者が一層の連携強化により、有明海・八代海の再生に向け総合的に諸施策を実施していくことが必要と考える。

最後に、本委員会に貴重なデータを提供して頂いた関係省庁、関係県及び大学等の関係各位に感謝するとともに、有明海・八代海等の再生を心から切望して、本報告の結びとしたい。

(以上)